

平成29年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
及び日本NGO連携無償資金協力
贈与契約署名式典 堀之内大使スピーチ
2017年9月29日（金） 於：日本国大使館多目的ホール

モンドルキリ州農村開発局
「モンドルキリ州コッニエーク郡2地区橋梁建設計画」

特定非営利活動法人 環境修復保全機構（ERECON）
「コンポンチャム州における貧困削減を目指した
持続可能な農業生産基盤の普及事業（第1年次）」

認定特定非営利活動法人 日本地雷処理を支援する会（JMAS）
「バンテアイミアンチェイ州における地雷・不発弾処理を伴う
地域開発促進事業（第1年次）」

- モンドルキリ州副知事 チェン・ソッチャンター様
- モンドルキリ州農村開発局局長 ヨン・サロム様
- 王立農業大学学長 ンガオ・ブントアン様
- 特定非営利活動法人 環境修復保全機構理事長 三原真智人様
- カンボジア地雷対策センター副所長 オン・ポムロ様
- 認定特定非営利活動法人 日本地雷処理を支援する会
カンボジア現地事業統括責任者 柴田幹雄様
- ご列席の皆様

本日、草の根・人間の安全保障無償資金協力ならびに日本NGO連携無償資金協力の贈与契約署名式典を開催することができ大変喜ばしく思います。

初めに、モンドルキリ州農村開発局に対しては、今回、日本政府から約 24 万米ドルを供与します。同団体は、モンドルキリ州コッニエーク郡においてコンクリート橋を 2 本建設する予定です。これにより地域住民約 6,000 人が裨益します。新しい橋が学校、病院、市場へのアクセスを向上させ、地域経済を活性化させることを期待しています。

次に、環境修復保全機構に対しては、今回、日本政府から約 56 万米ドルを供与します。同団体は、カンボジア随一の野菜生産地であるコンポンチャム州において、州農林水産局および大学教育機関と連携し、化学肥料や農薬を適正に使用し、自然資源を活用する環境に配慮した農法の普及および減化学肥料・減農薬農産物の流通販売のための基盤構築を行う予定です。持続的な営農が確立され、農産物の生産性と品質が向上することで、農家の貧困が削減され、人々が求める安全・安心な農産物が供給されることを期待しています。

最後に、日本地雷処理を支援する会に対しては、今回、日本政府から約 76 万米ドルを供与します。同団体は、バンテアイミアンチェイ州の高密度な灌木中に対戦車地雷が残存する除去難易度が高い地域において、CMAC による高度な地雷除去モデルの構築を支援する予定です。CMAC が、未だに多く残るこのような地域における地雷除去を自ら進め、地雷被害の防止や地域の社会経済開発が促進されることを期待しています。

最後になりますが、本日署名した事業が対象地域の住民に直接裨益し、カンボジアと日本の更なる友好促進に繋がることを心より願っています。

本日は、ありがとうございました。